

# 地上気象観測 地点情報履歴ファイル

■収録内容

全国の気象官署及び特別地域気象観測所の官署情報を、1961年から収録している。

■ファイル名

smaster.index

■レコード仕様

記録形式：テキスト形式（文字コードは Shift-JIS）

レコード長：146 バイト + 改行コード（改行コードは気象業務支援センターを通じての利用者：0D0A(16進数)、その他の利用者：0A（16進数））

ソート順序：地点番号、年代

■記録形式

◆レコード全体構造

項目	地点番号	空白	管区コード	観測回数	特記事項						アメダス府県コード	観測所区分	空白	カナ地点名	ローマ字地点名	観測所	
					1 全天日射 蒸発量 降水強風の有無	2 天気概況 大気現象	3 現地・海面気圧の 観測回数	4 観測測器	5 日照計測器	6 特殊日動 官署						緯度	経度
バイト数	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	8	12	6	7
開始バイト	1	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	15	16	17	25	37	43

  

風向風速計の 高さ m	気圧計の 高さ m	雨量計の地上 からの高さ m	報告種別	未使用	観測期間		漢字 地点名	漢字 官署名	都道府県振興 局名(左 詰めで 全角4 文字 まで)	標高 (官署の 高さ)	空白	判別コード					大気現象の 観測状況	空白	改行 コード
					開始 年月日	終了 年月日						1 特別地 域気象 観測所	2 視程計	3 積雪計	4 95型・ 10型	5 山岳官 署			
5	5	3	1	1	8	8	12	18	8	5	12	1	1	1	1	1	1	5	
50	55	60	63	64	65	73	81	93	111	119	124	136	137	138	139	140	141	142	

## ◆データ説明

- 「アメダス府県コード」は、アメダス府県表示番号（1971年1月1日以降）を表している。
- 「観測所緯度・経度」は、度分まで入力している。（例 45度 24.9分 → 452490）
- 「風向・風速計の高さ」は、m単位で小数第1位まで入力している。（1971年1月1日以降）
- 「気圧計の高さ」は、m単位で小数第1位まで入力している。
- 「雨量計の地上からの高さ」は、m単位で小数第1位まで入力している。
- 「標高」が月の途中で変更されたときは、その月は変更前の「標高」を用いる。
- 現地気圧の統計が切断になったときは、切断となった日をもって高さを変更する。
- 「観測期間」は西暦年月日を8桁で表す。（例 2001年6月1日 → 20010601）（注 終了期間で99999999は現在も継続していることを示している）
- 富士山、館野、三島、阿蘇山、南鳥島、父島については目視観測を行っていない(無人観測)ので特別地域観測所の判別コードを便宜上「1」としている期間がある。
- 「特記事項」欄の「天気概況・大気現象」は、1989年4月1日以降は、天気概況および大気現象の記録があっても「0」としている。
- 「特記事項」欄の「現地・海面気圧の観測回数」は、1991年1月1日以降は、どのようなコードが記入されていても24回である。

## ◆符号説明

## ◇管区コード

コード	管区等名称
1	札幌管区気象台
2	仙台管区気象台
3	東京管区気象台
4	大阪管区気象台
5	福岡管区気象台
6	沖縄気象台
7	本庁地球環境業務課（父島、南鳥島）
8	施設等機関（館野、昭和基地）

## ◇観測回数

コード	観測回数
0	定時通報観測なし
1~8	定時通報観測の回数
9	日中3回のみ定時通報観測を行う

## ◇特記事項

コード	1 全天日射量、蒸発量、降水強風時間の観測の有無	2 天気概況及び大気現象（時日別値ファイル）の記録有無	3 現地気圧と海面気圧の観測回数
0	なし	なし	なし
1	全天日射量	天気概況（昼）	現地気圧（4回）
2	蒸発量	天気概況（夜）	現地気圧（4回）＋海面気圧（7回）
3	全天日射量・蒸発量	天気概況（昼）・天気概況（夜）	現地気圧（4回）＋海面気圧（8回）
4	降水強風時間	大気現象	現地気圧（4回）＋海面気圧（4回）
5	全天日射量・降水強風時間	天気概況（昼）・大気現象	現地気圧（6回）＋海面気圧（8回）
6	蒸発量・降水強風時間	天気概況（夜）・大気現象	現地気圧（7回）＋海面気圧（4回）
7	全天日射量・蒸発量・降水強風時間	天気概況（昼）・天気概況（夜）・大気現象	現地気圧（7回）＋海面気圧（7回）
8			現地気圧（8回）＋海面気圧（8回）
9			現地気圧（8回）＋海面気圧（4回）

コード	4 観測測器	5 日照計測器	6 特殊日勤官署
0	JMA-74型地上気象観測装置	ジョルダン式日照計	該当せず
1			夜間閉鎖官署から移行（統計切断を伴わない）
2	JMA-80型地上気象観測装置	回転式日照計・太陽追尾式日照計・直達電気式日射計	宿直官署から移行（統計切断項目がある）
3	JMA-95型地上気象観測装置・JMA-10型地上気象観測装置		
4			
5			
6			
7			
8			
9			

## ◇観測所区分

コード	観測所区分
1	管区
2	旧地台
3	海洋気象台(2013年9月30日以前)
4	新地台
5	測候所
6	地球環境業務課(1986年1月1日以降)
7	施設等機関
8	特別地域気象観測所

## ◇報告種別

コード	報告種別
0	FD報告
2	オンライン報告
9	その他

## ◇判別コード

コード	判別
0 または空白	該当しない
1	該当する

## ◇大気現象の観測状況

コード	報告種別
0 または空白	通常
1	観測しない
2	欠測（※）

※一日のうち全部又は一部の時間帯に欠測となる状態が期間中継続している場合をいう。